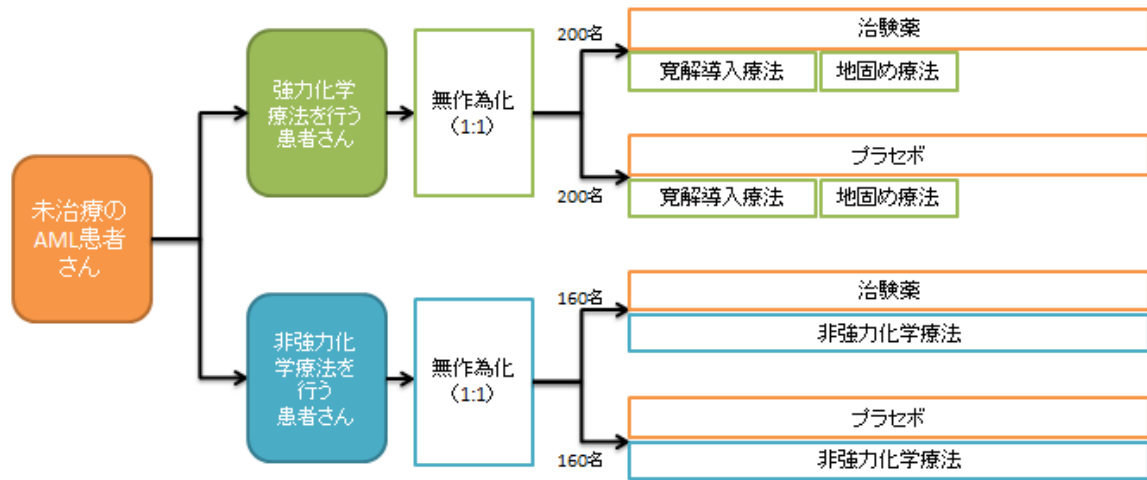


未治療の急性骨髄性白血病（AML）患者を対象とした 治験薬と強力化学療法または非強力化学療法の併用と 強力化学療法または非強力化学療法を評価する 無作為化、二重盲検、多施設共同、プラセボ対照試験

■ 治験デザイン



強力化学療法（複数の薬剤を併用します）を行うか非強力化学療法（1つの薬剤のみを併用します）を行うかは患者さんの年齢や身体の状態により治験担当医師が決定します。

■ 評価項目

- ・主目的：強力化学療法を行うパート、非強力化学療法を行うパート、いずれのパートにおいても全生存期間の延長について、治験薬のプラセボに対する優越性を検証します
- ・副次目的：安全性プロファイルの評価、薬物動態の評価 など

■ 主な選択基準

- 1 急性骨髄性白血病（AML）と診断され、AML に対して未治療の患者さん
- 2 20 歳以上の患者さん
- 3 十分な肝機能及び腎機能を有する患者さん など

■ 主な除外基準

- 1 AML に対する前治療歴を有する患者さん
- 2 治療中の他の悪性腫瘍を持たれている患者さん
- 3 他の治験に参加されている患者さん など

現在、ファイザー株式会社では、急性骨髄性白血病（AML）に対する臨床試験を実施しています。
本試験に関するお問い合わせは、下記のコールセンターまでご連絡ください。

※参加基準に合わない場合、募集の定員を超える場合など、ご参加いただけない場合もございます。

ファイザー 治験コールセンター

03-6459-0761

受付時間：9：00～18：00 [年中無休]